

令和3年度の重点課題

○第5学年男子

・「握力」において、県平均値かつ全国平均値より低い。

○第5学年女子

・「上体起こし」、「20mシャトルラン」、「50m走」、「立ち幅とび」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
・アンケート調査において、「運動やスポーツをすることが楽しい」と答えた児童の割合が約29%である。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

- 登り棒に赤・青・緑のカラーテープを貼り、目標を視覚化することで、意欲的に取り組めるようにした。
- 「吉川セブン」の到達状況を種目ごとに調査することで、児童の苦手としている運動をより細かく把握した。
- 運動を苦手と感じている児童も楽しみながら運動に取り組めるよう、「ドキドキタイム」や「ロング屋休憩」に、仲間と一緒に楽しめる「ドッジボール」や「体力アップトレーニング」等の運動を行った。
- 体育の授業では、他者と比べるのではなく、自分で設定した目標や課題に向けて取り組めるよう、ワークシートを工夫したり、タブレットを活用したりした。

令和4年度新体カテストの結果（県平均値（令和4年度）・全国平均値（令和4年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.00	16.50	31.50	46.00	58.00	8.70	168.50	32.00	58.50	第5学年	16.50	21.83	38.67	42.33	51.83	9.72	145.33	19.17	59.17

県平均値かつ全国平均値未満

令和3年度新体カテストの結果（県平均値（令和3年度）・全国平均値（令和3年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	13.13	24.38	36.13	46.88	62.63	8.79	167.50	23.88	59.75	第5学年	17.14	15.43	43.14	40.14	31.29	10.04	135.86	14.00	53.29

県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	100.0	0.0	0.0	0.0	第5学年	83.33	16.67	0.00	0.00

学校独自の意識調査

吉川小学校では、全児童を対象とした、運動への意識調査を実施した。右表は、「スポーツや運動、体を動かす遊びは好きですか。」という問いへの回答状況である。

	とても	まあまあ	あまり	まったく
男子	39	13	7	1
割合	64%	21%	11%	2%

重点課題

- 第5学年男子
・「上体起こし」「長座体前屈」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 第5学年女子
・「50m走」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 児童アンケートより
・体を動かすことに対して、否定的な回答をした児童が13%いた。
・得意な運動と苦手な運動についての回答は、ともに「登り棒」が最も多く、腕力の二極化が窺える。

令和5年度の
重点目標値

- 体を動かすことに対して肯定的な回答をする児童の割合を、90%以上にする。
- 男子の「上体起こし」「長座体前屈」について、県平均値を上回るようにする。
- 女子の「50m走」について、県平均値を上回るようにする。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・ICT機器を積極的に活用し、自分の体がどのように動いているかを客観的にとらえ、児童自ら改善することで、達成感や成就感を味わうことができるようにする。特に運動が苦手と感じている児童については、個人内での成長を十分認め、本人が伸びを感じられるよう、振り返りカード等を充実させる。
- ・準備運動と基礎体力向上のために行っている「吉川セブン」について、自分の目標を設定してより効果的に行えるようにする。
- ・日常生活での動きとして少ない「上体起こし」や「長座体前屈」を準備運動の中に取り入れる。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・長期休業中、家庭でできる筋力トレーニングや柔軟運動を紹介し、「体力アップカード」を通して積極的に取り組めるようにする。
- ・朝のドキドキタイムでは、「吉川マラソン（持久走）」、「縄跳び」、「鬼遊び」、「ドッジボール」等を実施し、運動を楽しみながら体力をつけられるようにする。
- ・月2回程度「ロング屋休憩」を実施し、運動が苦手な児童も十分体を動かして遊ぶ機会を設ける。
- ・全児童を対象とした、意識調査を実施する。